

# Case Study

シェイク研修 導入事例 取材レポート

vol.24

## TOTO株式会社

販売統括本部 販売企画部  
営業人財育成センター 瀧本 千佳 様



「変化していく今の時代だからこそ、自分の軸をしっかりと持って適応していくことが大切。個の成長を支援することと組織に働きかけをしていくことが人材育成の仕事」と語る販売企画部の瀧本様に、今回ご導入いただいた研修についてお話を伺った。

### 会社プロフィール

1917年創立の大手住宅設備メーカー。衛生陶器とシステムバスは業界トップシェアを誇る。「強く・明るく・美しい会社を目指して」をビジョンに、ものづくりと人材育成の両面で「TOTOらしさ」の追求を進めている。

### 実施概要

リーダー的な立場で働く30代の正社員・契約社員14名に「自分の可能性を広げる」キャリア研修として、WILL開発DRIVEを実施。

shake inc.

### 今回、研修を導入されたきっかけを教えてください。

2008年から新人事制度がスタートしたのですが、会社とTOTOグループで働く人の適切な緊張関係を保つために、働く個人はキャリアという意味において自律していくことが求められると思いました。市場変化への対応をすることが、自分も変わることのチャンスとして捉え、柔軟に適應するための能力を身につけるといった自律する人材になっていくことが必要だと考えました。特に、派遣社員⇒契約社員⇒正社員という道ができ、スキルやキャリアを磨き、ステップアップしていけるようになったからこそ、より「自

場面を振り返り、自分の働く目的や意志を確認して、そこから未来を描くステップになっていましたので、それだったら多くの気づきが得られそうだと思います。働く目的は、自分の軸であり、やりがいにつながるもの、頑張るための原動力のようなもの。イキイキと働くためには、必要だと思います。

### 今回の研修のゴールはどんなことでしたか。

受講者が、自分の働く目的を知り、自分の可能性に気づいて、新たな領域へのチャレンジをすることができるようになることです。行動の変化まで求めたいところです

でしたが、現場から離れて考えることで、自分を見つめる大きなきっかけになったようです。今回は、受講対象者が14名と少なく、組織全体への影響はまだ弱いと思います。ただ、初めての取り組みとしてやってみたところの手ごたえや課題は見えてきました。

### 今回の導入において、課題などはありましたか。

先を見た初めての取り組みだったのですが、現場の管理者にキャリア研修の必要性の理解を得ることが一つのハードルでした。「必要なのはわかるけれど、研修でどれだけ行動が変わるのか？」という

### ◎ 事例紹介 — for 若手・中堅社員

#### WILL開発DRIVE

## 変化の時代を生き抜く自分の軸を持った強い人材を創る！ 働く目的を見つめ、自らの可能性を広げるWILL開発DRIVE

分の今後について考える機会や、その必要性が増えてきたように思います。そのような中において、よりチャレンジをしていくためには、自分はどうしていきたいかを見つめないと第一歩を踏み出せないのではと思いました。そういった問題意識の中で、キャリアの面からのサポートが必要だと考えました。

### 複数のご提案の中から、シェイクをお選びいただいた理由を教えてください。

私自身が、シェイクの研修体験会に参加し、私自身の働く目的について気づくことができたことが大きいです。変化に携わることに関心を持っていることに気づき、そこから、なぜ、今の仕事が好きなのかという理由も見えてきました。そして、どんな仕事でも自分の働く目的に通じるやりがいを感じる事ができると気づいたときに、いろいろなことにチャレンジしようと、自由になれた気がしました。これは、他のみんなにも良い気づきになると思いました。キャリア研修は、過去を見て、未来を描いて…というものがありますが、なかなか未来が描けなかったりします。しかし、シェイクのキャリア研修はWILLに焦点をあて、自分を見つめることを切り口にしています。自分の決断の

が、今回の研修のゴールとしては、意識に変化があれば良いと考えていました。実際に、環境の変化に伴って、自分も変わっていかねばいけぬという気づきや、変化に適應していくには、軸を持っていないと適應できないという気づきなどを得ることが研修の狙いでした。

### 研修を実施してみて、いかがでしたでしょうか。

ある支社の方ですが、9月に会ったときには、どこか曇ったような感じだった方がいました。リーダーとして新しいチームに異動したことに対してモヤモヤされていたそうです。その方が、今回の研修直後にすっきりされた表情をしていました。研修の内容が腹落ちし、自分なりの考え方がはっきりと見えてきて、有意義な時間になったのだと思います。また、今回の研修を通して、自分の軸を見つめることで、非常に表情が明るくなった方もいます。今後の道筋や、自分の意志が見えたのではないのでしょうか。「1年後、自分の変化についてみんなにメールする！」と宣言をされていました。この方々のように、特に現状にモヤモヤされた方は、自分の今後について考え、確実に自分の中の何かを掴んで帰ったようです。ここまでの変化は想定していません

ことを心配しており、現場から送り出すことを渋られました。けれど、「意識が変わらなければ、行動が変わらない」それを伝えながら、意見交換を重ね、理解を求めました。現状は、全支社には、まだ、研修の狙いや成果などがすべて伝えられていませんので、十分に理解を得られていないかもしれません。ですが、この取り組みに意義があるということがわかったので、今後も伝え続けたいと思います。受講された方の変化が意義を体現してくださるので、それを成果として考えています。

### 今回の研修を実施しての感想と抱負をお聞かせ下さい。

今回の研修を通して、新たな第一歩が踏み出せたと思います。ひとつは、個々の受講された方々に新たなチャレンジとして意識、行動、可能性を広げることができたと思います。もうひとつは、営業人財育成センターとして、どんどん自分の可能性を広げチャレンジをしていく人を創っていく組織・風土作りの第一歩になりました。個の成長を支援することと人材育成を通じて、組織に働きかけ、販売部門の組織風土をより良くしていくことが人材育成の仕事だと考えています。

プロジェクト  
全体像

「働く目的を明確にし、自分の可能性を広げる  
「WILL開発DRIVE」研修の事例をご紹介します。

研修による成長

「働く目的」という目的軸から  
フォーカスを当てる新しい切り口の  
キャリア研修

研修のゴール

キャリアを選択するのは  
自分の「意志」なんだ  
ということを実感し、  
どんな仕事であっても、  
前向きに捉えることが  
出来ている。

自らの新たな  
可能性に気づき、  
自分らしくイキイキと  
主体的に働いている。

若手・中堅社員研修

WILL開発DRIVE

- 「働く目的」を考えることで、より深い自分自身への気づきを生み出し、「自分らしさ」の発揮につなげる
- 「働く目的」を考えることで、「目的を見失い、やる気を失うメカニズム」を理解し、自分で自分の可能性を広げ、揺れにくい自分を創る
- 「働く目的」を考えることで、働くことへの主体者意識を醸成させる

アンケート  
より

研修に参加した方々に、研修を通じての  
学びや気づきについてアンケートに  
答えていただきました。

- 「強い意志を持つこと(WILL)」、「ブレない自分軸を形成すること」の必要性に改めて気づくことができました。
- 目的をはっきりさせることができれば必然的に「やらなければいけないこと」が見えてくるようになりました。また、それを具現化できることが目標の達成、目的を果たす近道になることに気づきました。
- 自分がどうありたいか、どんな風になりたいのかと常に心と向き合い、周囲に流されるのではなく、自分の考えで行動していきたいと思いました。
- これまでの自分の決断を振り返ると、何かしら「目を背けていたこと」「フタをしていたこと」があることを改めて実感した。
- 「目をむけようとしていなかった部分に目を向ける」ことができ、「イキイキ働けていないのは目的を見失っている」からであり、「自分の弱み・強みを知ることで目的意識が持てる」ことを自分のこととして考えることができた。
- リーダーとしては、ブレない軸を基に、目的を明確に指揮を取っていかないと、チームを纏めることは出来ないと思いました。
- ブレない目的を持つことで、まわりの状況・環境が変化しても自分を見失わずに対応ができ、変化を楽しむことができるような考えをもてるようになっていきたい。